

中期重点事項	楽しむ学び	具体項目	◎主体的・対話的で深い学びの授業実践 ◎確かな学力の育成	良											
本年度目標	・授業がよく分かると答える児童が80%以上 ・漢字・計算テストや国語テスト（言語分野）で平均90点以上														
具体的方策の取組状況と達成状況	1 具体的方策 (1) 各教科の「見方・考え方」を踏まえた授業を実践することで、児童に学び方を身に付けさせ、深い学びにつなげる。 (2) クラウドを活用し、児童同士の情報を共有、可視化した授業を実践する。 (3) 基礎・基本となる漢字や語句、計算等の定着を図る。														
	2 アンケート結果 (1) 毎日の授業は分かりますか。（児童の振り返りより）														
	<table><tr><td>はい</td><td>だいたい</td><td>あまり</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>6人(60%)</td><td>4人(40%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				はい	だいたい	あまり	いいえ	6人(60%)	4人(40%)	0人(0%)	0人(0%)			
	はい	だいたい	あまり	いいえ											
	6人(60%)	4人(40%)	0人(0%)	0人(0%)											
	(2) OneDrive や Microsoft 365 のアプリを活用した授業を、学期中に複数回行いましたか。（教職員アンケートより）														
	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 3 十分 おおむね良い やや不十分 不十分														
	<table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>4.0</td><td>A</td></tr></table>				数値	評価	4.0	A							
	数値	評価													
	4.0	A													
(3) お子さんは、家庭で AI ドリルを用いて学習していましたか。（保護者アンケートより）															
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 2 十分に当てはまる ほぼ当てはまる あまり当てはまらない 全く当てはまらない 4 3 1															
<table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>3.2</td><td>B</td></tr></table>				数値	評価	3.2	B								
数値	評価														
3.2	B														
(4) 漢字・計算テスト・国語テスト（言語分野）の結果															
<table><tr><td></td><td>漢字まとめ【100点満点】</td><td>国語（言語分野）【50点満点】</td><td>計算まとめ【100点満点】</td></tr><tr><td>1学期</td><td>79.7</td><td>46.73</td><td>90.5</td></tr><tr><td>2学期</td><td>86.8</td><td>46.79</td><td>90.5</td></tr></table>					漢字まとめ【100点満点】	国語（言語分野）【50点満点】	計算まとめ【100点満点】	1学期	79.7	46.73	90.5	2学期	86.8	46.79	90.5
	漢字まとめ【100点満点】	国語（言語分野）【50点満点】	計算まとめ【100点満点】												
1学期	79.7	46.73	90.5												
2学期	86.8	46.79	90.5												
総括	3つの具体的方策を行い、「授業がよく分かる」ことを目指した結果、達成割合は60%であった。また、各テストの平均点は、計算テスト、国語テスト（言語分野）は90点を超えたが、漢字テストは86.8点であった。各教員がタブレットを活用したことでクラウドや Microsoft 365 等アプリの利用が進み、授業のデジタル化や DX 化が進んだ。だが、児童が主体的にデジタル教材を活用することには課題が見られた。これらの結果を鑑み、課題が見られるため、評価は「良」とした。														
改善点	「授業がよく分かる」ことや漢字定着に課題が見られることから、各教科で「見方・考え方」を踏まえた授業を行い、児童に学び方を身に付ける授業を行うよう継続する。また、深い学びにつなげていくため、引き続き、タブレットの効果的な活用と基礎基本の定着を行う。基礎基本の定着については、これまでの丁寧な取り組みを継続しつつ、ノートに書いて練習するといったドリル的な学習だけでなく、日常的な使用場面や物語を利用した教材等、児童の興味を引く教材を用いていく。														

中期重点事項	豊かな心	具体項目	◎一人一人が活躍できる集団づくり	優							
本年度目標	・学校が楽しいと答える児童が80%以上										
具体的方策の取組状況と達成状況	1 具体的方策										
	(1) 児童会を中心とした自主的な全校活動を実践する。学校行事等で児童一人一役活動を実践する。										
	(2) 学級活動を中心に機会を捉えて、自分らしさや自尊感情・自己効力感を育む教育を推進する。										
	2 取り組み状況										
	(1) 会社活動										
	本校では委員会活動を「会社活動」とよんでいる。会社活動は、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするために学校の全児童をもって組織する異年齢集団の児童会による自発的、自治的な活動である。本校では、2年生～6年生の全児童10名が協同して活動している。										
	(※毎日の清掃活動、放送当番、せっけん液の補充、健康な生活の発表など)										
	(2) 学級活動										
	自分らしさや自尊感情・自己効力感を育む教育を推進している。										
	・人権に関する授業・・・差別やいじめに対する心情を養う。										
	・思いやり集会・・・友達の良いところを発表し、自己有用感を高める。										
	・日記発表・・・発表する力を高めるとともに、自尊感情を高める。										
	・ポジティブ集会・・・自分らしく生きる力と、逆境や困難に立ち向かう力を養う。										
	3 アンケート結果										
	★学校は楽しいですか？（児童の振り返りより）										
	<table><tr><td>楽しい</td><td>まあまあ楽しい</td><td>あまり楽しくない</td><td>楽しくない</td></tr><tr><td>9人(90%)</td><td>1人(10%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)
楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない								
9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)	0人(0%)								
総括	アンケート結果では、目標を達成することができた。その要因として、全児童が学校を楽しく豊かにしたいという思いで、自分の役割に責任感をもって取り組み、その結果、充実した学校生活を送ることができたことが挙げられる。また、教員も児童の考えを尊重し、児童の声を丁寧に聴き、支援することができたからではないかと思われる。ポジティブ教育や思いやり集会を通して、友達との絆を深めたり、自己肯定感を高めたりすることができたことも要因の一つである。以上のことから年間評価を「優」とした。										
改善点	今年度は「自分らしさや自尊感情・自己効力感を育む教育」に力を入れてきた。今後は、児童が様々な気持ちに気づき、それらと上手に付き合っていく方法や、周囲との関係性を尊重しながら自分らしさや強みを伸ばす方法について学ばせていく。										

中期重点事項	豊かな心	具体項目	◎交流活動を生かした ふるさと学習づくり	優								
本年度目標	・みんなで何かをするのは楽しいと答える児童が90%以上 ・友達の考えを聞いて、自分の考えを伝えることができたと答える児童が80%以上											
具体的方策の取組状況と達成状況	1 具体的方策 (1) 常磐地区を中心に越前町内の施設を活用した学習活動を企画し、地域の人と交流する。 (2) 小小連携での交流学习を通して、児童一人一人のコミュニケーション力を高める。											
	2 取組状況、アンケート結果 (1) 施設を活用した学習活動 ①生活科(2年生)…米作りの活動、地区探検：常磐地区 西田中・内郡区 ②社会科(4年生)…浄水場・下水処理場、最終処分場見学 (5年生)…漁業体験：越前魚港 (5、6年生)…子育て支援センター見学・調査 ③総合的な学習(4～6年)…米作りの活動、地域学習											
	(2) 小小連携での交流学习 ①全学年…朝日小での交流学习(毎月) ②2年生…糸生小との人権教室や交流授業 ③4～6年…糸生小との気づき事業での交流 ④5、6年…朝日小学校行事等参加、糸生小との遠隔合同授業											
	(3) みんなで何かすることは楽しいですか。(児童の振り返りより)											
	<table><tr><td>はい</td><td>だいたい</td><td>あまり</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>9人(90%)</td><td>1人(10%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				はい	だいたい	あまり	いいえ	9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)	0人(0%)
	はい	だいたい	あまり	いいえ								
	9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)	0人(0%)								
	(4) 毎日の授業で、話し合いなどに進んで参加していますか。(児童の振り返りより)											
	<table><tr><td>はい</td><td>だいたい</td><td>あまり</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>7人(70%)</td><td>3人(30%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				はい	だいたい	あまり	いいえ	7人(70%)	3人(30%)	0人(0%)	0人(0%)
	はい	だいたい	あまり	いいえ								
7人(70%)	3人(30%)	0人(0%)	0人(0%)									
(5) 朝日小の友達と、休み時間に話したり遊んだりすることができましたか。(児童の振り返りより)												
<table><tr><td>はい</td><td>だいたい</td><td>あまり</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>10人(100%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				はい	だいたい	あまり	いいえ	10人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)	
はい	だいたい	あまり	いいえ									
10人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)									
(6) 地域の方との交流学习は楽しかったですか。(児童の振り返りより)												
<table><tr><td>はい</td><td>だいたい</td><td>あまり</td><td>いいえ</td></tr><tr><td>10人(100%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				はい	だいたい	あまり	いいえ	10人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)	
はい	だいたい	あまり	いいえ									
10人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)									
総括	2つの方策を進めた結果、目標を達成できた。小小連携では、交流(合同)授業だけでなく、休み時間にも交流できるようにした。また、恒例の米作り学習では、田植えや稲刈り、脱穀等の作業のみならず、地域の人々の米作りに対する思いや地域と共にある学校の様子に気付けるよう配慮し、学習内容の深化を図った。これらの結果を鑑み、評価は「優」とした。											
改善策	本項目は目標を達成し、良い評価となった。引き続き、これまでの取り組みを継続する。教員はふるさと教育のねらいを共有し、児童がふるさとに関する知識を広げ、認識を深められるよう授業の工夫を行う。そして、学びを通して、児童がふるさとに一層愛着と誇りをもてるようにしていく。											

中期重点事項	たくましい心	具体項目	◎めあてをもち継続したチャレンジ・体力づくり		優												
本年度目標	・設定した目標に継続して取り組んだと答える児童80%以上																
具体的方策の取組状況と達成状況	1 具体的方策 (1) 体育の授業で、自分に合っためあてを設定し実践する。																
	2 取り組み状況・アンケート結果 (1) 体育の各単元において目標を設定し、児童は振り返りを行った。目標が達成することができたら、新たな目標を設定し取り組んだ。 ★児童の体育カードより ・(持久走) …自分が設定した記録よりもちぢめることができた。 ・(走り幅跳び) …リズムよく踏み切ることができた。 ・(走り高跳び県内比較) …思っていたよりも跳ぶことができ、順位が上がってよかった。 ・(なわとび) …進級表で3級に合格することができた。 ・(跳び箱) …8段を跳ぶことができた。手をつく位置に気をつけたい。																
	(2) 体育の授業(ハピスポを含む)で、自分に合っためあてを決めて取り組むことができたか。(児童の振り返りより)																
	<table><tr><td>取り組んだ</td><td>だいたい取り組んだ</td><td>あまり取り組めなかった</td><td>取り組めなかった</td></tr><tr><td>9人(90%)</td><td>1人(10%)</td><td>0人(0%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				取り組んだ	だいたい取り組んだ	あまり取り組めなかった	取り組めなかった	9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)	0人(0%)	<table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>3.8</td><td>A</td></tr></table>	数値	評価	3.8	A
	取り組んだ	だいたい取り組んだ	あまり取り組めなかった	取り組めなかった													
9人(90%)	1人(10%)	0人(0%)	0人(0%)														
数値	評価																
3.8	A																
(3) がんばりタイムなどで自己目標が達成できましたか?(児童の運動カードの結果より)																	
<table><tr><td>達成できた</td><td>だいたい達成できた</td><td>あまり達成できなかった</td><td>達成できなかった</td></tr><tr><td>8人(80%)</td><td>1人(10%)</td><td>1人(10%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				達成できた	だいたい達成できた	あまり達成できなかった	達成できなかった	8人(80%)	1人(10%)	1人(10%)	0人(0%)	<table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>3.7</td><td>A</td></tr></table>	数値	評価	3.7	A	
達成できた	だいたい達成できた	あまり達成できなかった	達成できなかった														
8人(80%)	1人(10%)	1人(10%)	0人(0%)														
数値	評価																
3.7	A																
総括	アンケート結果では、肯定的な回答が90%を超えた。今年は「はぴりゅうスポーツ広場」という県の取り組みを活用したことで、例年以上に楽しんで運動に取り組めた。目標を設定したり、県内順位を比較したりできることから記録を上げることへの意欲が高まった。また、がんばりタイムにおいても目標を掲げ、意欲的に練習に励み技能を伸ばした。よって評価は「優」とした。																
改善点	がんばりタイムに関するアンケートでは、あまり達成できなかったという児童がいた。目標がその児童に合っていたかを教師と一緒に考える必要があった。目標に届かない場合には、見直しをアドバイスするなど一人一人を丁寧に支援していく。また、目標達成の成否にだけ目を向けるのではなく、それまでの努力や取り組む姿勢を認めていくことで、意欲を持続させていく。																

中期重点 事項	たくましい心	具体項目	◎生活習慣づくり	良							
本年度 目標	・ふりかえりカードで健康的な生活ができたと答える児童、保護者が80%以上										
具体的 方策の 取組 状況と 達成 状況	1 具体的方策 (1) げんきチェックを活用し、保健指導や委員会活動を通して、基本的生活習慣の定着を図る。 (2) アンケートや児童観察で、児童の様子を把握する。 (3) げんきチェック週間に2ヶ月に1回程度、家庭でメディアに触れないで過ごす日（マイチャレンジデー）を設定する。										
	2 アンケート結果 (1) 児童が健康的な生活が過ごせるように、声掛けなどができましたか。 （教職員アンケートより） 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 十分 おおむね良い やや不十分 不十分 4 1 <table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>3.8</td><td>A</td></tr></table>				数値	評価	3.8	A			
	数値	評価									
	3.8	A									
	(2) マイチャレンジデーは、親子で有意義な時間となりましたか。（保護者アンケートより） 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 十分に当てはまる ほぼ当てはまる あまり当てはまらない 全く当てはまらない 1 9 <table><tr><td>数値</td><td>評価</td></tr><tr><td>3.1</td><td>B</td></tr></table>				数値	評価	3.1	B			
数値	評価										
3.1	B										
(3) 早寝・早起きができましたか。（児童の振り返りより） <table><tr><td>できた</td><td>だいたいできた</td><td>あまりできなかった</td><td>できなかった</td></tr><tr><td>6人(60%)</td><td>2人(20%)</td><td>2人(20%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	6人(60%)	2人(20%)	2人(20%)	0人(0%)
できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった								
6人(60%)	2人(20%)	2人(20%)	0人(0%)								
(4) お子さんは、健康的な生活ができましたか。（保護者アンケートより） <table><tr><td>できた</td><td>だいたいできた</td><td>あまりできなかった</td><td>できなかった</td></tr><tr><td>1人(10%)</td><td>7人(70%)</td><td>2人(20%)</td><td>0人(0%)</td></tr></table>				できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	1人(10%)	7人(70%)	2人(20%)	0人(0%)
できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった								
1人(10%)	7人(70%)	2人(20%)	0人(0%)								
総 括	児童の振り返りでは、「早寝・早起き」が「できた」と「だいたいできた」をあわせると80%となった。保護者アンケートからも、「できた」と「だいたいできた」をあわせると80%となり、児童、保護者ともに目標は達成できた。 また、「マイチャレンジデー」については、昨年度からの継続した取り組みだったこともあり、家庭の協力も得やすかった。保護者のアンケートからも「親子で有意義な時間となった。」と答える保護者の割合が、昨年度より増えた。 以上のことから年間評価を「良」とした。										
改 善 点	メディアに関する取組みの「スマートルール」や昨年度より実施している「マイチャレンジデー」の取組みは、家庭の協力もあって、一定の成果を上げている。また、今年度は「メディアとの付き合い方」、再編に向けて「不安な気持ちとの付き合い方」という演題で、親子研修会を2回開催し、親子で考える機会を設けた。今後も保護者の意見を取り入れながら、地道に啓発活動に取り組んでいきたい。										

令和6年度学校関係者評価書

越前町立常磐小学校 学校関係者評価委員会

楽しむ学び	<u>主体的・対話的で深い学びの授業実践</u> <u>確かな学力づくり</u> ● クラウドやインターネットを使つての授業は、紙面では伝わらない情報や状況など児童にとってイメージしやすく伝わりやすく良い取り組みだと思ふ。 ● 少人数で対話的な学びが非常に難しい中、交流学習やオンラインでの授業をするなど工夫して取り組んでいてよいと思ふ。 ● 少人数であることの利点として、発言、発表の機会は多くあり、自ら考え、自ら話すこと場面を多く見受けられた。 ● 見方、とらえ方を基本に、AIドリルの活用など、確実に児童たちの学力が向上していると思ふ。
豊かな心	<u>一人一人が活躍できる集団づくり</u> ● 学校活動の一つの「会社」と見立てた工夫は大変良いと思ふ。また、上級生が下級生の面倒を見たり、教えたり一人ひとりの児童が、しっかりとつながり生き生きと活動している姿が見られた。 <u>交流活動を生かしたふるさと学習づくり</u> ● 米づくりや、ふるさと学習など少人数ながら多くの体験ときめ細やかな指導で、故郷に対する興味と愛着を感じたのではと思ふ。
たくましい心	<u>めあてをもち継続したチャレンジ・体力づくり</u> ● アプリの活用など一人ひとりの目標が見やすくなり継続につながっている。児童たちの体育大会での一輪車パフォーマンスは児童の自信につながるとともに多くの人に感動を与えた。児童の成長を実感した。 <u>生活習慣づくり</u> ● 規則正しい生活は、児童、学校、保護者が協力して行うものであり、個々の家庭でのルールを守り継続することが重要である。そのためには学校側からも情報や考える機会を作る必要があると思ふ。
その他	常磐小学校は開校以来地域コミュニティの拠点として、学校行事を通じて地域住民の交流の場でもあり、また児童の横のつながり、縦のつながりは社会人になっても、現在までも受け継がれている。閉校後もそうあり続けていくことを願ふ。